

令和7年群馬工業高等専門学校 入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、ここに本科生 209 名、留学生 1 名、編入生 2 名、専攻科生 38 名、合わせて 250 名をお迎えすることになりました。在学生、教職員一同、心から歓迎いたします。

皆さんが入学された群馬工業高等専門学校は、高等専門学校制度創設と同じ、1962 年（昭和 37 年）、実践的・創造的技術者を養成することを目的とした五年間一貫教育を行う高等教育機関として開校されました。また、二年制のより高度な専門教育を行う専攻科も、1995 年（平成 7 年）に設置されました。

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する。」ことを教育理念として教育・研究活動に取り組んでおり、本年三月で、本科・専攻科をあわせて 10,558 名の卒業生・修了生を輩出し、幅広い分野で活躍されています。

本科に入学された皆さん、留学生、編入生の皆さんは、本日から群馬高専の学生として新しい一步を踏み出します。期待に胸を膨らませていると同時に、新しい学校生活に少し不安を感じている人もいるかもしれません。焦らずに、少しずつ新しい学校生活に慣れていただければと思います。悩みごとは、決して自分ひとりだけで抱え込まないでください。悩んだら、先生やご家族、そして先輩や友人などの周りの人に相談してください。皆さんが、いろいろな課題を乗り越えられるように、教職員ができる限りサポートしていきます。一緒に頑張っていきましょう。

本科の皆さんは、中学校を卒業されて群馬高専に入学され、高専生になりました。もし、高校へ進学されていれば、皆さんは中学校の時と同じように、「生徒」と呼ばれたはずですが、高専では大学生と同じ「学生」と呼ばれます。これは、高専が高等教育機関であり、皆さんが群馬高専での学びに主体的に参画し、責任と自覚を持って、高専で活動していただくためです。ですから、勉強においても、生活においても、「自分から取り組む」、「自分でやってみる」という自立への努力がとても大切になります。

皆さんには、群馬高専での学校生活において、何事にも興味を持って、積極的に勉学をはじめとする様々な活動に取り組んでいただきたいと思います。

日頃から自学自習の習慣を身につけ、自分がどのような知識・技能を修得したいのか、すべきなのかについて、よく考えるようにしていただきたいと思います。そして、受け身の姿勢で指導を待つのではなく、明確な目的意識を持って、自ら学んでいこうという前向きな姿勢で学修に努めるように心がけていただければと思います。

また、自分の専門の知識や技術だけでなく、人文科学や社会科学、自然科学な

どの分野もおろそかにはしないでください。社会に出てから求められる能力を身につけるためには欠かせない教養となります。また、スポーツや芸術、音楽などに触れることも大切です。

高専での生活は、勉学以外でも多くのことを学べる時間でもあります。学校行事やクラブ活動、国際交流活動、学内外のコンテストなどにも積極的に参加するようにしていただければと思います。課外活動において学年や学科の枠を超えて、様々な先生や友人と交流したり、切磋琢磨したりする経験は、今後の皆さんの人生を豊かなものにしてくれると思いますし、学生時代にできた友人は、生涯を通じて大変貴重な存在になります。高専生活での様々な「出会い」を大切にいただければと思います。

遠く海外から第三学年に編入学された留学生の皆さんにおかれては、母国を離れ、日本で勉強することは大変なことだと思いますが、留学生の皆さんとの交流は、日本の学生にとっても異文化を理解するための貴重な機会となります。両者が相互理解を深め、その絆が強まることを心から願っています。

高等学校から第四学年に編入学された皆さんにとっては、これからの高専生活は、高校時代と比べて、学習内容や学習環境が大きく変化するのではないかと思います。どうか、一日も早く高専の環境に慣れて、本校での新しい交友関係を築いていってください。

専攻科に進学された皆さんは、専門分野における高度の授業を受けるとともに、研究室での研究生活が中心になります。本科での勉学を土台にし、しっかりとした専門知識を身につけ、新たなものを作り出す能力、創造性を発揮できるよう、努力していただければと思います。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。また、ご来賓の後援会会長の吉田様、御多用の中、ご参会いただきありがとうございます。

高専は、中学・高校とは異なる高等教育機関であり、学生たちの自主性を尊重した教育を行っております。もしかしたら、このような教育環境に戸惑うこともあるかもしれませんが、皆様の温かい見守り、励ましが、学生にとって、なによりの支えとなります。ぜひご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが、群馬高専において様々なことにチャレンジし、有意義な学生生活を送られるとともに、夢や目標を叶えられることを祈念して、式辞といたします。

令和7年4月4日

群馬工業高等専門学校 校長
大 金 伸 光